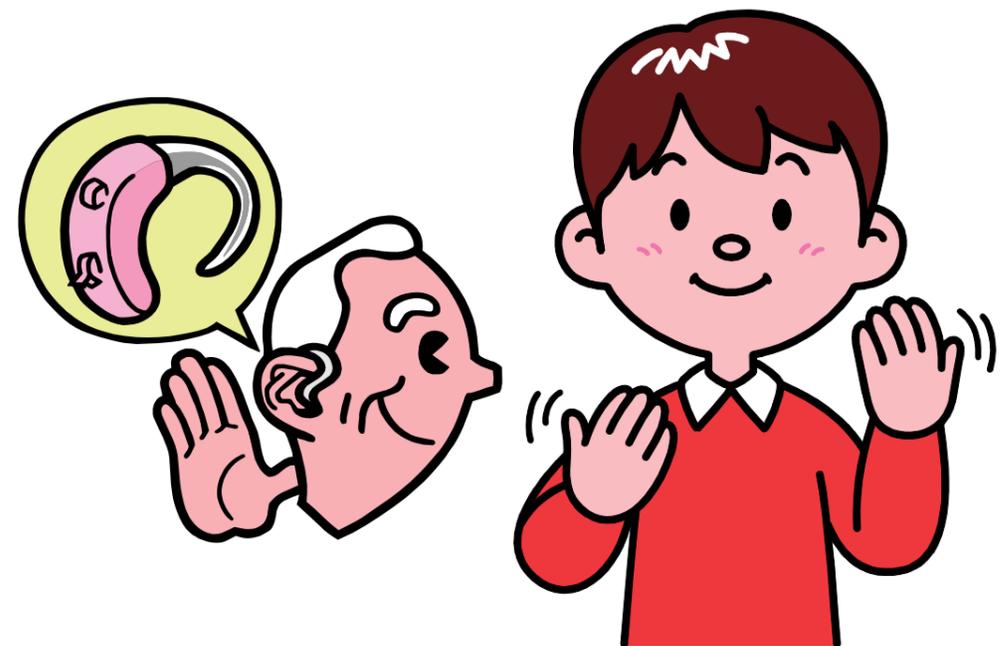


わたしたちのまちには、いろいろな人が暮らしています。

その中には、障がいのある人もいます。



## ねらい

障がいのある人とは、どんな人でしょうか？ 考えてみましょう。

目の見えない人、手足の不自由な人など、見ただけで障がいがあるとわかる人もいます。

聞こえない人などは、話をしてみても初めて障がいがあるとわかります。

でも、それだけが障がいではありません。

ほかにも、知的障がい、心臓や腎臓など体の中の障がい、心の病気など、見ただけではわからない障がいがあります。

発達障がいの子どものかかわりも大きな課題となっています。

※発達障がいとは、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他

これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」（発達障害者支援法第2条）のことです。

障がいがあっても、外出したり、買い物したり、友だちと会ったり、わたしたちと同じように生活しています。

障がいの有無にかかわらず、同じ人として交流しましょう。

しょう ひと み  
障 がいのある人は見ただけでわかるでしょうか？

であ  
まちで、出会ったことがありますか？

そのとき、どんなことをおも  
思いましたか？